

アーティスト イン レジデンス プログラム  
ARTIST-IN-RESIDENCE PROGRAM  
アークスプロジェクト2011 いばらき

# ARCUS PROJECT 2011 IBARAKI

DOUBLE STANDARD  
ダブルスタンダード

プログラム期間  
2011 9/11 — 12/9

90 DAYS



M [社] 企業メセナ協議会認定

アサヒビル株式会社

ポーランド共和国大使館

香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部

パキスタン・イスラム共和国大使館

アークスプロジェクト

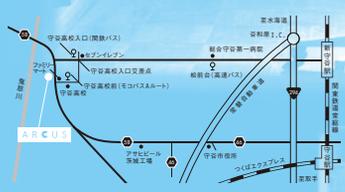
ヴォイチェフ ギレヴィチュ  
WOJCIECH GILEWICZ  
FROM ポーランド

ファザル リズヴィ  
FAZAL RIZVI  
FROM パキスタン

【車での来場】  
つくばエクスプレス(快速)秋葉原から32分、北千住から21分、  
関東鉄道常総線(取手駅)から17分(守谷駅)下車。  
→守谷駅西口から関鉄バス(1)「新守谷駅」行き(2番乗り場)で守谷高校入口下車。  
あるいは、エクスプレスバス(常総線)25分でも可。1番乗り場(守谷高校前)下車。  
徒歩約5分。詳しくはHPをご覧ください。

【徒歩バスの場合】  
東京駅八重洲南口より高速バス6番乗り場(関東鉄道バス)  
「水海道・守谷」行きで「新守谷」下車。  
(所要時間約1時間、「総前」バス)下車から徒歩15分)

【車の場合】  
常磐自動車道「守谷インターチェンジ」から取手方面へ約10分。



ARCUS  
Residency for Artists,  
Experiments for Locals

アークススタジオ  
〒302-0101 茨城県守谷市板戸町2418  
もろや学館の2階内  
Tel & Fax = 0297-46-2600  
E-mail = arcus@arcus-project.com  
Web = http://www.arcus-project.com

design by soda design  
printing by TOMOE Inc.

# ARCUS PROJECT 2011 IBARAKI

ARTIST-IN-RESIDENCE PROGRAM (90 DAYS)  
DOUBLE STANDARD / ダブルスタンダード 2011 9/11—12/9

レジデントアーティスト募集期間中の2011年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故は、今年度で17年目となるアークスプロジェクトの活動に大きな影響を与え、きわめて特別な意味をもたらしました。コミュニティ、安心、家族、幸福という事柄の、これまでとこれからの価値基準を問い直しざるをえない現在を、わたしたちは生きています。今年度の90日間のレジデンスプログラムは、3人のアーティストの感性を通じた茨城県守谷市と日本、錯綜する複数の基準が存在するわたしたちの日常を映すことになるでしょう。

## レジデントアーティスト

ヴォイチェフ ギレヴィチュ  
WOJCIECH GILEWICZ  
1976年生まれ、ポーランド在住。主に、彫刻、そしてデザインや建築の分野で、建築的表現を用いて社会公共的領域での活動を積極的に行う。国際レジデンスの経験も豊富で、現在はポーランドとNYを往來しながら国際的に活躍する。

ワイ ケン フェイ  
WAI KEUNG HUI  
1973年生まれ、香港在住。歴史の出来事、人々の持つ概念に強烈なリアリティのアプローチを、現実にはないこと、事、あるいはない事として終わらせず、アートとしてあきらかな現実性に立っていった独自の表現方法を用いて活動を行う。

ファザル リズヴィ  
FAZAL RIZVI  
1987年生まれ、パキスタン在住。作品の素材に、アーティスト自身の家族の肖像、歴史を繰り返す写真、作品としてのアップロードは絵画領域だが、自身の体験を制作の重要な要素に導入し、体験の無いようなシミュレーション制作活動重視している。

## オープンスタジオ

レジデンスプログラム期間中にオープンスタジオを3回開催し、プロジェクトのプロセスを段階を追って公開します。来日前に提案されていた滞在計画を見直し、改めて「い・ま・こ」を見つけてほしいと依頼しました。レジデントアーティストそれぞれの視点、そこから派生する創作活動のあり方の再構築を目指します。

### ● オープンスタジオ 01 [シングルスタンダード] 9/19

9月19日(月祝) 11:00~20:30

レジデントアーティストとスタジオプログラムの日本人ゲストアーティストたちによるトークを実施。 ※美術館内はアークスプロジェクト

### ● オープンスタジオ 02 [ダブルスタンダード] 10/21

10月21日(金) 12:00~17:00、22日(土) 12:00~19:00

アーティストと第三者が協働で行う内容のプログラムを2日間で実施します。

●ヴォイチェフ ギレヴィチュ [カラー・ジュワケル・ショップ "RECYCLING CULTURE"]  
日時=22日(土) 13:00~15:00 / 会場=スタジオ4 / 参加費=無料 / 申し込み=不要

●ワイ ケン フェイ [守谷市民憲章ワークショップ] まなCAFÉメニューとして  
日時=22日(土) / 会場=広場 ※なくなり次第終了

●ファザル リズヴィ [被災地の写真洗浄活動]  
日時=21日(金)、22日(土) / 会場=創作工作室(2楼一階) ※中止となる可能性があります。当日、お問い合わせ下さい。

### ● オープンスタジオ 03 [トリプルスタンダード] 11/26

11月26日(土)、27日(日) 12:00~19:00

滞在成果と帰国後の計画、そして自身の創作活動に対するどんな確信を得たのかを報告する機会となります。

また、H+H(ヒビノヒスタル)ワークショップの実施を通じ、アークスプロジェクトの活動初期から協働するアーティスト日比野克彦氏(ART)と地域の関係性について守谷市長と対話します。

海外のアーティスト、地域、日本のアーティストの三者が絡りなす独特なアークスの景色の中で、「未来」について語り合い、思いを馳せる2日間となります。

●西尾千尋+神村恵+しばたみづ希+山口礼子の公開制作  
4名のアーティストがひとつのスタジオで同時多発的に制作を行います。

時間=26日(土)、27日(日) 12:00~19:00 / 会場=スタジオ1

●日比野克彦(アーティスト)+会田真一(守谷市長)対談 [AIRと地域とアーティスト(仮)]  
時間=27日(日) 15:30~17:30 / 会場=ロッカールーム

●クロージングパーティー  
時間=27日(日) 18:00~20:30 / 会場=ロッカールーム / 参加費=無料

## オープンスタジオ同時開催イベント

### ● まなFES 敬老の日 9/27

■ オープンスタジオ 01 同時開催  
9月19日(月祝) 11:00~20:30

絵画制作「絵我楽」による絵手紙ワークショップや作陶サークルに参加体験した狩野節郎(美術作家)、高貴吉規(建築家)によるトークを実施しました。

### ● まなFES 秋の活動参観日 10/21

■ オープンスタジオ 02 同時開催  
10月21日(金) 12:00~17:00  
22日(土) 12:00~19:00

「もりや学びの里」を拠点にするサークルの活動を公開するとともに、アークスプロジェクトのコラボレーションによって、まなCAFÉを誕生させます。その他、シンプル組合による、まなFESキャラ「まな民」のピクニック作りワークショップ、ロッカールームではアークスサポーターによるスピーチや作りと鑑賞会などを行います。 ※詳細情報はブログまたはHPをご覧ください。

### ● オープニングセレモニー

■ オープンスタジオ 02 同時開催  
10月21日(金) 18:00~19:30

レジデントアーティストの来日を歓迎する目的で開催、会場内で招待アーティスト、アークスプロジェクトの活動紹介を交えたセレモニー形式のイベントです。

会場=守谷市国際交流研修センター(ログハウス)守谷市緑2-1-1  
※当日は17:00~オープンスタジオ会場(6F)や学びの里から会場までの無料送迎バスがあります。  
参加費=無料

### ● 映像鑑賞会賞 [ALL ABOUT MY ARCUS]

1回 10月21日(金) 21:00~10:00(翌朝)

2回 11月26日(土) 21:00~10:00(翌朝)

参加定員=30名(事前予約が必要。HPをご覧ください。)  
参加料=500円(朝食代として) / 持参するもの=履袋、ほか

各イベント、プログラムの詳細や最新情報については、こちらをご覧ください。また、アーティストの活動に興味を感じたら、アークススタジオ見学希望の旨をご連絡ください。スタッフと日時をご相談の上、訪問することができます。

WEB <http://www.arcus-project.com> BLOG <http://arcus4u.exblog.jp>  
TWITTER <http://twitter.com/arcusproject> MAIL MAGAZINE オンライン登録制、不定期配信

## スタジオプログラム：日本人ゲストアーティスト

プログラム期間=2011年9月11日(日)~12月9日(金) 90日間  
会場=アークススタジオ スタジオ1

アーティストインレジデンスプログラムにおける日本人の公募・招聘枠に代わり、取手アートプロジェクトからの推薦で日本人アーティスト1名に制作スタジオと制作費補助を支援する「スタジオプログラム」を実施しています。日本人アーティストのキャリア構築に「海外」「国際」という新しい視点を持ち込むことを目的に、海外アーティストとのレジデンスプログラムという創造環境の共生を実現しています。(茨城県南茨城の門前会館事業の一環として、2010年度より継続実施)

【主催】アークスプロジェクト実行委員会(茨城県、守谷市、財団法人茨城県国際交流協会、アジア・カルチュラル・カウンシル)  
茨城県南茨城の門前会館(茨城県、守谷市、守谷市、東京芸術大学、取手アートプロジェクト実行委員会、アークスプロジェクト実行委員会)  
【助成】平成23年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業、公益財団法人ポーラ美術振興財団、財団法人アサヒビル芸術文化財団、公益財団法人花王芸術・科学財団、財団法人文化・芸術による福祉地域振興財団  
【後援】ポーランド共和国大使館、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部、パキスタン・イスラム共和国大使館  
【協賛】印刷製版株式会社、株式会社協働会、茨城県信用金庫、株式会社東洋銀行、茨城県信用金庫株式会社、株式会社茨城銀行、守谷市金融、関東鉄道株式会社、守谷市商工、株式会社つくば研究支援センター、茨城県信用保証協会、コマツ、中央労働会、株式会社ジョイフル本田、匠舎法人グループあびる建設正勤クリエーション、株式会社あひるがくセンター、株式会社たか、株式会社茨城ポート・オーソリティー、茨城のみ農業協同組合、株式会社千草銀行  
【協賛】アサヒビル株式会社  
【ネットワーク】ART ROUND EAST, ResArtis

レジデントアーティスト=西尾千尋  
1979年生まれ、日本在住。  
今回のスタジオプログラムでは、制作の場面で関係性をこなし、その過程をInstagram、YouTubeなどの映像メディアを通じて公開することで、アーティスト自身の感性がどうなるか、体験を重視してのこす方法を模索している。